

いのち
生命の水 うるおす未来

アミジアネット

JAFS

NEWS & REPORTS 2025年秋

163



特集

「土と水と緑の学校」最終回

● 主な目次 ●

「巻頭言」土水の縁から井戸贈り始めた 02
 特集：「土と水と緑の学校」最終回 04～07
 「海外活動ア・ラ・カルト」 08～11
 伸びゆく「メイド・イン・バングラデシュ」/
 いのち育むマングローブ再生／フィリピン
 台風被災者支援
 「井戸ができた村」 12～14
 贈った井戸を現地で見る夢かなった 15
 JAFSにフレッシュな風
 ～新スタッフ&インターン紹介 16・17
 イベントカレンダー2025年夏 18・19
 新入会員紹介・領収報告 20・21
 「JAFSプラザ」=国内の活動 22
 澄んだ歌声コンサート／学生企画の学習会
 「環境コラム」 23
 「編集後記」 23

アジアネット

JAFS NEWS & REPORTS 163
 2025年秋



アジア協会アジア友の会とは

アジアに井戸を贈ることから地域の自立を目指す国際協力NGOです。1972年に大阪の若者により結成された国際奉仕グループ「エポス・クラブ」が発展し、1979年に大阪で設立。誰もが生まれてきて良かったと思える社会を目指し、2025年3月現在、井戸建設（累計2366基）や植林（累計261万本）、子ども教育支援を中心に活動しています。全国都道府県認可の社団法人取得第1号です。2012年から、内閣府の認定を受けた公益社団法人になりました。

海外との交流・協力活動は、アジア18カ国（インド、インドネシア、バングラデシュ、タイ、マレーシア、フィリピン、スリランカ、ネパール、韓国、カンボジア、シンガポール、ミャンマー、ラオス、中国、ベトナム、モンゴル、パキスタン、アフガニスタン）、さらに西アフリカのブルキナファソにも広がり、65の現地提携団体を通じ、友情のネットワークが形成されています。日本国内でも、各地でチャリティプログラム、自然環境プログラムや、人材育成、留学生交流など行っています。



本会へのご寄付は、寄付金控除の対象です

JAFSは内閣府より公益社団法人としての認定を受けています。JAFSへの寄付金や会費（社員会費は除く）は、申告によって、所得税、法人税、相続税について税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

確定申告の際、税額控除、所得控除のいずれか有利な方を選択できます。本会発行の領収書を添付して申告してください。法人税は損金の額に算入することができます。相続税は最寄りの税務署などにお問い合わせください。

巻頭言

私は当初、主催団体であるJAFSについてはほとんど知識がなく、ただこのプログラムの素晴らしさに惹かれて子どもたちを送り出していました。ところが、郵便で送られてくる案内や報告書を読むうちに、JAFSがアジア各国に井戸を贈り、水と命を守る活動をしているのを知りました。

実は当初、主催団体であるJAFSについてはほとんど知識がなく、ただこのプログラムの素晴らしさに惹かれて子どもたちを送り出していました。ところが、郵便で送られてくる案内や報告書を読むうちに、JAFSがアジア各国に井戸を贈り、水と命を守る活動をしているのを知りました。

私は当初、主催団体であるJAFSについてはほとんど知識がなく、ただこのプログラムの素晴らしさに惹かれて子どもたちを送り出していました。ところが、郵便で送られてくる案内や報告書を読むうちに、JAFSがアジア各国に井戸を贈り、水と命を守る活動をしているのを知りました。

土水の縁から井戸贈り始めた



米田 明正
 アジア協会アジア友の会 理事

AFSネパール事務所開所式に同行し、実際に支援先の村を訪れました。寄贈した井戸の前で村人たちに迎えられた時の感動——あの瞳の輝きと満面の笑顔は、今も私の心に刻まれた宝物です。こうした草の根の市民活動を続けるJAFSの理念に深く共感し、今

さらには子ども支援や環境問題、災害支援にも力を注いでいることに感銘を受け、25年前から私の会社でも井戸の寄付を始めました。今ではその数は50基を超え、教育里子の支援も毎年5人続けています。一度、ネパールのカトマンズに

では会社が法人会員となり、私自身も理事として関わっています。長男には会社を継いでほしい、「目指せ！井戸寄贈100基!!」を合言葉に、その志を引き継いでくれていきます。次男も取締役として、兄をしっかり支えてくれています。「土水」がなければ、このような深く永い縁は生まれていなかったかもしれません。そして、この夏、第42回を迎える「土と水と緑の学校」が、ついに最終回を迎えました。わが子たちを育て、多くの出会いと気づきを与えてくれたこの合宿が終ることに、言葉にできないほどの寂しさを感じています。それでも、たとえ形が変わったとしても、また新たな形で復活する日が来ることを、心から願っています。

プロフィール

よねだ・あきまさ
 大阪府出身。奈良県生駒市在住。株式会社グローアップ 監査役。2009年からJAFS社員会員、2014年から法人会員、2016年からJAFS理事。

JAFS 会員綱領
 私たちは、世界の平和と人間の基本的人権を守るために人々との「友情と信頼」に基づく「理解と協力と連帯」の輪をアジアと世界に広げます。
 かかる目的をもって私たちJAFS会員は以下のことに努めます。
 一、アジアと世界の人々の幸せに奉仕します。
 一、地球の自然環境を大切に守ります。
 一、生活の無駄を省き、地球資源を大切にします。
 一、これらの奉仕活動を通して、自分と他人の生命の価値を高めます。
 以上

大切さを学んだ 協力を

自然の 人との



特集

「土と水と緑の学校」最終回

今年で42回目を迎えた「土と水と緑の学校」（以下「土水」）が8月7日から11日の日程で行われました。1983年から始まった夏の恒例行事で、毎年、和歌山県新宮市高田地区で青少年の心身の健全な発達促進や子どもたちの自然体験を目的に行われてきましたが、今年で40年以上の歴史に幕を下ろしました。

小学3年生から中学3年生までの参加者の子ども

たちと、高校生から30代の青少年（ジュニアリーダー・リーダー・チーフリーダー）とが、寺子屋と呼ばれる宿泊地で寝食を共にしながら、土・水・緑に関する授業を通して、自然の大切さを学ぶ青少年育成事業として活動してきました。大変多くの方にご参加いただき、この「土水」がいかに皆さんに愛されていたかを改めて実感いたしました。（JAFスタッフ 藤澤幸二郎）

寝食を共にし深まる仲

一生の思い出 42回の歴史に幕

今年全員で69名の子どもたちが参加しました。大阪から11名、新宮市から48名、新宮市の姉妹都市である宮城県名取市から10名。参加者の子どもたちをまとめるリーダーは全員で20名。そして参加者やリーダーたちの活動を支えるボランティアには、60名を超える方々にご参加いただき、総勢150名近くが共に活動しました。

開校日の8月7日、今年の土水本部場所になった宿泊施設「あやの里」に、参加する69名の子どもたちがやってきました。子どもたちの中には、これまでに参加経験のあるリーダーも多く、久しぶりに会った友だちやリ

ダーたちと再会を喜ぶ声がたくさん聞こえてきました。

一方、ボランティアの方々も続々と集まり始めました。ボランティアの中には、小学生の頃に参加者だったり、その後リーダーを経験した方も多く、中には20年ぶりに参加するという方もおられました。

1日目、2日目と天候に恵まれ、子どもたちはそれぞれの班で楽しく学ぶことができました。リーダーたちは、集団生活になかなか馴染めない子や親元を離れて不安になっている子たちを気遣い、参加者一人一人に寄り添いながら過ごしていました。

に恵まれない時もありましたが、雨用のプログラムに切り替えるなど臨機応変に対応し、無事、大きな怪我や事故もなく最終日を迎えられるました。

閉校式では、リーダーたちが参加者一人一人にメッセージを書いた修了証が送られ、子どもたちはその修了証を嬉しそうに眺めていました。別れの時には、涙を流しながら別れを惜しむリーダーや子どもたちの姿があり、この「土水」で過ごした日々が、いかに濃密で心に残る日々だったかを物語っていました。

参加者やリーダー、ボランティアからは、次のような感想がありました。

参加者の声

「土水なくなるの寂しい」

〇うれしかったことは、少しさみしくて泣いた時に、ゆいぴーとおこんぶがなぐさめてくれたこと。楽しかったことは、初めてのカヌーと水遊びで、カヌーは最初むずかしかったけど、できた時の気持ちよさがよかった。学んだことは、きもだめしはやってはいけないこと。理由は、ギャン泣きしたから。あとは朝のパンを6本食べておいしかった。土水がなくなるのはさみしいけど、土水で学んだことを生かしたいです。

（今野愛咲、通称・チャッキー、小5、名取）

（田嶋結 通称・ガッキー、中3、新宮）

リーダーの声

「魅力子どもに手渡す」

〇土水との出会いは小学3年生の夏でした。すごく楽しくて、それから毎年「今年も絶対行く！」と親に話して一緒に行動して、協力し合っていて、泣いたり笑ったり、時には喧嘩もして仲を深めていくことは、普段学校生活ではなかなかできない経験だと思います。

土水の1番の魅力は「人との繋がりが」だなどと思います。年齢も出身もバラバラな人たちと関わることで様々な

「海の授業」で磯観察。多種多様な生き物を見つけ、みんな興味津々
〓8月8日、和歌山県新宮市

リーダーたちは、4月から週1回のリーダー研修を受けて本番に参加しています。今年初めてリーダーをするメンバーもあり、当初はどこかきこちなかったリーダーたちも研修を重ねるごとにチームとしてまとまり、本番を迎えるまでに、互いを補い支え合う強力なチームワークを築いていきました。

そのリーダーの研修を担っていたいたのが、赤嶋崇さん（通称・みどり）や篠崎千恵さん（通称・ソフィ）を中心とするかつてのリーダー経験者の方々。このように「土水」はかつてのリーダーから次のリーダーへと受け継がれ、脈々と続いてきました。3日目からは天気が崩れ始め、天候



最終日前夜のミニオリンピックで綱引き。班の参加者とリーダーみんなで力を合わせてがんばった。8月10日、和歌山県新宮市高田地区

ボランティアの声

「人生の一部であり宝物」

○ぼくが担った役割は本部ボランティアです。清掃、配膳、参加者の安全管理、プログラムの準備など色々体験をしました。ボランティアを通して参加者と関わる機会もあり、良き思い出になりました。僕はもともと寡黙なタイプなのですが、土水でいろんな人と出会い、喋る楽しさを学べました。今では人と喋るのが楽しいです。それが自分にとって一番大きい変化です。

僕にとって土水は人生の一部です。土水なくして今の自分はないと思っています。土水では数えきれないほどの貴重な経験をさせてもらいました。メンバーは優しくて面白くてフレンドリーな方ばかりです。そんな土水の雰囲気は僕は大好きです。また土水に参加できる日を楽しみにしています。

(堅田朋希 通称…ともき)

○今年も本部ボランティアとして参加し、毎日みんなのごはんを作っていました。私が土水に出会ったのは、小学3年生のときです。森や雨の匂い、川の冷たさ、高田(新宮市高田地区)ならではの自然がとても特別でした。毎日のワクワクする体験、たくさんの人と仲良くなる楽しさや、体調を崩した時にどれだけ優しくしてもらったかを今でもよく覚えています。その後もリーダーや本部として関わり続け、

人がいることを知り、世界が広がっていく感覚に喜びを感じていました。毎年すごく楽しくジェットコースターのように一瞬でした。何周も「土水ジェットコースター」に乗り続けました。まだまだ乗りたかったです。

土水での経験はどれもかけがえのない宝物で、私を構成する上で欠かせない大切な一部でもあります。両手で抱えきれないほどたくさん学びや感動を与えてくれました。本当にありがとうございました！

(尾崎萌香 通称…もか)

○土水と出会って経験し、一日一日を大切にしようと考えようになりました。初めて参加したのは小学6年生。親元を離れ知らない人と一緒に生活することに、不安しかありませんでした。しかし、閉校式の時には出会った友達と離れる寂しさが強かったことを覚えていきます。この一期一会の出会いや経験が土水の醍醐味だし、沢山の感情や経験を通して子どもが成長できる機会はこの先も必要と感じました。

僕がチーフリーダーを務めて関わってきた子どもたちには、人生の中でたった5日間が一生涯の思い出に残る5日間になってくれれば良いなと思います。そして、これからも沢山の人の出会うって色々な経験をして、土水のように一瞬で過ぎていく普段の日常を大切に過ごして欲しいと思います。

(宇恵惟織 通称…いーさん)

土水42年に寄せて

◆新宮市長 田岡実千年

「土と水と緑の学校」は、公益社団法人アジア協会アジア友の会様と新宮市の共催により、昭和59年から毎年夏に新宮市高田を中心に開催してまいりました。

自然の恵みへの感謝や仲間との絆を育んできた経験が参加者の皆様の社会でのご活躍につながっておりますことを何よりもうれしく感じております。

本校は令和7年度をもって閉校することとなり、多くの方々に惜しまれながらの幕引きとなりますが、これまでの築かれた絆が、参加者、リーダー、ボランティア、高田地域の皆様の誇りとして心に残り続ければ幸いです。

長年ご尽力くださった講師の先生方、高田地域の皆様、アジア協会アジア友の会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆JAFS創設者 村上公彦

今年8月11日に「土水」の閉校式が無事終わり、42年にわたる「土水」が、惜しまれながらその幕を閉じました。1983年(昭和58年)の開校以来、延べ約3600人の児童が参加したプログラムです。このプログラムの企画に参加した人は、ボランティア、地区世話人、行政関係者などを含め

今では自分の子どもも参加しています。子どもからの「楽しい！また行きたい！」「高田は第二のふるさとやん。」という言葉はともうれしかったです。

活動を通して、多くの学びや気づきがありました。そして何よりここで出会えたみなさんとのご縁は私にとって本当に大切な宝物です。何度来ても、毎回楽しくて、毎回違った土水になるので、「土水は永遠に完成しない」と感じます。

(若林美幸 通称…れいめん)
○「本当に土水が終わってしまったのかな」。この原稿を書いている今もそんな気持ちですが、42回目となる土水が今年で最終回を迎えました。第2回土水から参加し、第1回目と中学生・高校生のうちの5年間以外は全て参加してきた私にとって、土水とは夏が来れば毎年当たり前のようにやってくる存在であり、それがなくなるということを現実味を持って受け止めたこととは今までありませんでした。

この42年の間、世の中は大きく様変わりしましたが、高田の自然は昔から変わりなく私たち土水を受け入れてくれています。とはいえ、高田の環境は変わってきており、土水のシンボルとも言えた旧高田公民館が昨年とうとう取り壊され、更地になった跡地は一つの大きな節目を表しているように感じるところです。

私がこれまで土水で得た様々な出会いは、かけがえのない人生の宝物です。長い間、本当にありがとうございました。またいつか、みんなで高田の地で再会したいですね！

(赤嶋崇 通称…みどろ)

この「土水」の5日間で、リーダーやボランティアの方々からよくこんな言葉が聞かれました。

「土水があつたから今の自分がある」

「土水は人生の一部」

「土水」は今年で最後となりますが、参加者の子どもたちやリーダーたちにとって「土水」での経験が、これからの社会を創造し、変化の激しい時代を力強く生き抜くための力となってくれることを願っています。

土水閉校後には、寺子屋での授業を長年にわたり担当くださった瀧野秀二先生や、共催いただいた新宮市の田岡市長など、これまで土水開催にあたりご尽力いただいた方々を招いて感謝会が行われました。

「土水」は、これまで42回という歴史の中で多くの方々に支えられて続けてきました。最後に、ご協力いただいた方々の声をお届けします。

皆様、「土と水と緑の学校」に長年わたってご参加ご協力いただきました誠にありがとうございました。

いのち育むマングローブを再生

人と自然が共生する取組み

フィリピン・ソルソン島にあるソルソン
ゴン州マトノグ市の、港と町の中心部
に近しい静かな海岸線に、パグリラン村
があります。かつてはココナッツ農園



大きく育ったマングローブの根に隠れるカニなど魚介類をねらう。魚も増え、生計を得る漁業にも日々の食料にもなる＝フィリピン、ソルソン州パグリラン村

を営み、マングローブ林から薪を調達し、豊かな海の恵みを楽しんで暮らしてきました。しかし、十数年前からマングローブ林の伐採が進むにつれ、また地球全体の気候変動が深刻化する中、沿岸地域が高潮や海洋資源の減少に直面してきました。年々大きくなる台風被害に、マングローブ林をなんとか再生できないかと、JAFSと共に2014年からワークキャンプを開催し、沿岸地域の村々で協力してマングローブ植林を継続しています。

マングローブは地域にとって、単なる樹木ではありません。天然の防波堤であり、海の生物の生育場所であり、気候変動の緩和に役立つ炭素吸収源でもあります。漁業が主な生計手段であるこの地域では、マングローブは貝類、カニ・エビなどの甲殻類、様々な種類の魚や鳥など、生物多様性と地域経済の両方にとって不可欠な生物たちの隠れ家と繁殖地となっています。

何よりも重要なのは、多くの家族にとってマングローブが日常的な食料源となっていることです。大きな船を持たない漁師たちは、槍、網、ヘッドライト、そして小さなボートだけで、自由に魚介類を捕まえることができます。昼夜を問わず干潮時には、貝、タコ、カニなどを採ることが出来ます。水位が高い時は、開けた場所に網を投げて魚をつかまえます。夜には、夜行性動物、眠っている魚、甲殻類を狩る

ことができます。魚は大きくなると深海へ移動します。

地域に広がる安心と希望

マングローブ林は、特にモンスーンシーズンで海が荒れている時でも安心して過ごせる場所です。町の中心部で働く商人や観光業に従事する船頭たちは、涼しく静かなマングローブ林を舟で漕いで村まで安心して移動できることをとても喜んでます。悪天候の時は、魚たちは安全を求めてマングローブへ向かいます。サンゴ礁を白化させてしまう強い潮流や激しい潮汐の影響を和らげてくれます。

これからも、マングローブ林を守り増やしていくことで、環境保護にとどまらず、エコツーリズム、生計の多様化、そして気候変動への回復力の基盤を築いていこうと村人と話しています。マングローブが成長して森になるには何年もかかり、一度破壊されてしまつと、再生には多大な労力を要します。最初は、小さなコミュニティでの数百本の植林から始めましたが、今は人々の心に大きな変化をもたらし、人と自然のバランスを取り戻すことを目指して団結しています。まだ村が貧しい経済状況から抜け出したとは言えませんが、未来に希望を持って幸せを感じています。

(AFSソルソン
アンデイ・ガバス)

は命をつなぐ重要なものです。

今回設置したのは、バガンバヤン小学校、シリアコ・タイコ記念学校、バガン中央学校、フラガンテ小学校、ティンギブ小学校、イディアカカン小学校、マガアバ国立高校、パندان国立職業高等学校、スタアナ国立高校、マガアバ小学校、スト・ロザリオ小学校の11校。子どもは総勢4942名です。タンクの付け替えや水の補充により多くの人が水を得られます。各学校にタンクを多めに常備し、緊急時はパندان水道局と連携して水を補充します。ウォーターデイスペンサー寄贈に合わせ、給食や緊急時の食料確保も含めた学校農園、防災訓練、地域のボランティア活動なども同時に進めています。JAFSとともに活動していることは子どもたちに大きな励ましとなり、積極的に活動を頑張っています。

AFSパندانでは地域行政やボランティアと協力し、学校を拠点に、復旧活動と合わせ、新しい災害時にも素早く的確に活動できるように体制作り力を入れています。平時有事の安全な水の供給を効果的に進められるよう、地域のボランティアを増やすために、引き続き日本のみなさんと活動できれば、とても嬉しいです。

(AFSパندان代表
ジェネロッサ・コンデス)

▲子どもたちからの
メッセージ



大型化する台風時に水を確保するために 台風被災地その後 — フィリピン

2024年9月から25年1月までフィリピン中部に大型台風がいくつも横断し、大雨による鉄砲水や洪水、地滑りが発生し、大きな被害ができました。2025年の台風シーズンが始まりました。パندان町33村のうち、24年の台風で特に被害が大きかった地域では、避難所(学校)を拠点に、被害の少なかつた地域に協力を求めて物資や募金を集め支援物資を配りましたが、まだ行き届かない地域や人が多くいます。今は復興支援として、水害を受けた学校の設備を整え、今後の台風被害を抑えるための防災訓練や、山と海の森づくりの活動を進めています。

日本の多くの方が被災者に思いを寄せ、寄付くださったと伺いました。本当にありがとうございます。11校にウォーターデイスペンサーを設置できました。支援活動の中で、被災者から一番要望が多く、現場で必要性が高かったのが、安全な飲料水の確保でした。パندانは水道パイプライン事業を実施した地域であり、町の中心は水道が引かれ、徐々に供給エリアが広がっています。しかし今までにない規模の水害が発生すると水道が使えなくなる地域が出て、復旧までには時間がかかります。遠隔地でまだ水道が通っていない学校もあります。地域の避難所となる学校において、日常の子どもたち、および災害時の被災者の安全な飲料水のために、ウォーターデイスペンサー

給水車要らずの村に

村に井戸はなく、飲用できる水源もないため、特に厳しい乾季には、行政が給水車を出勤していました。しかし水が得られる日数は限られ、必要な水量を毎日得ることはできませんでした。水が必要になると、農業用水路から水を得ていましたが、衛生的でない上、農業を含む危険性もあり、長時間歩いて水を手に入れても、その水が原因で病気にかかる人も少なくありませんでした。この度井戸ができ、村の中で安全な水を毎日手に入れられるようになり、感謝しています。

ウバ州モナラーガラ県タラワッタ村
 受益者：8世帯65人および近隣農民
 井戸の形式：露天式（深さ8m）



【寄贈者】富永信明様

ご寄付には
 税の優遇措置が
 受けられます

いのち 生命の水 うるおす未来

井戸の寄贈にご協力ください。あなたの力がアジアの人々の命を助けます。ご寄贈者に完成報告書、写真をお届けし、現地の井戸に、ご寄贈者のネームプレートを設置します。

■井戸1基ご寄贈の場合に必要な費用■（2024年4月改定）
 インド=60～80万円 スリランカ=40万円 バングラデシュ=25万円
 ネパール=20万円（パイプライン=25～400万円） フィリピン=45万円
 カンボジア=28万円

※現地の建設・資材費上昇により改定。3年間のメンテナンス費、現地管理費を含む。
 ■寄付を合わせて1基寄贈の場合■ 1,000円以上の任意額のご寄付で井戸建設にご協力いただけます。20万円以上のご寄付でネームプレートに記名いたします。

■お振込み先■ ・郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会
 ・三菱UFJ銀行大阪中央支店 普通1968711 公益社団法人アジア協会アジア友の会

詳しくはアジア協会アジア友の会
 ☎06-6444-0587へ

安全で衛生的な水を確保できないアジアの地域に井戸ができて生活基盤が整い、自立へ一歩踏み出せるようになりました。ご寄贈くださったみなさまに感謝申し上げます。

みなさんのおかげで 井戸ができた村

【寄贈者】樋口雅軌様



子どもたちが毎日学校へ

ウバ州モナラーガラ県ワイラオヤ村
 受益者：15世帯60人および近隣農民
 井戸の形式：露天式（深さ8m）

村には井戸も飲料に使える水源もなく、村人は遠く離れた小さな池や川まで歩いて水くみに行かざるを得ませんでした。川や池の水は動物も使うため衛生的とは言えず、布でこして煮沸して飲んでいましたが、水が原因の病気も多発していました。井戸ができ、人々は長距離を歩かなくても、清潔な飲料水を手に入れられるようになりました。子どもたちは学校に遅れず毎日通えるようになり、女性たちは家事や農業に時間を使うことができました。本当に感謝です。

水を買わずに済む

この村は乾燥地域にあり、井戸はなく飲料に使える水源もないため、村人達は高いお金を払って買ってきた水を買うしかありませんでした。水代が家計を圧迫するので、食べ物や他の必要な支出を削っていましたが、現金収入が少ない村人も多く、水を買えない時も頻繁にありました。そんな時は、水がわずかに溜まる場所などから、決して安全ではない水を飲んでいました。井戸ができ、村の中で清潔な飲料水が毎日得られるようになり、村人たちは皆、心より感謝しています。



【寄贈者】ファンシープランニング 富永弘子様

ウバ州モナラーガラ県ウエヘラガラ村
 受益者：20世帯85人
 井戸の形式：露天式（深さ8m）

モーター付き井戸で安定供給

村人は生活に必要な水を、遠く離れた安全でない水源に頼っていました。毎日厳しい日差しの下、長い距離を歩いて水くみに行くので、子どもは学校に満足に通えず、女性の仕事も制限されていました。転機は、日本からのご支援で実現した、電動モーター付き井戸の設置。清潔な水が、村の中心部に安定して届くようになりました。水くみの重労働から解放され、安全な水が容易に手に入り、生活が衛生的になり、勉強や仕事、家事の時間が増え、暮らしが一変しました。



【寄贈者】前田みどり様

マハラシュトラ州アムラバティ地区ラージュラ村
 受益者：280人
 井戸の形式：チューブ式（深さ103m）

【寄贈者】前田みどり様

ウバ州モナラーガラ県エティタラムツラ村
 受益者：10世帯60人および近隣農民
 井戸の形式：露天式（深さ8m）



乾季でも清潔な飲み水

村人の多くは仏教を信仰するシンハラ人で、ゴムや胡椒の栽培など農業に従事しています。村は乾燥地域にあり、井戸も水源もなく、特に乾季にあたる2～9月の年8カ月は水を求めるのがとても難しく、慢性的な飲料水危機に直面していました。現地提携団体サルボダヤが村に入って調査し、村人たちと相談の上、現在の場所に井戸を設置することになりました。井戸のおかげで、人々は遠くまで水を求めて移動しなくても、清潔な飲料水を手に入れることができるようになりました。

村人も井戸建設に協力

村には井戸や、飲料に使える水源もないため、村人は4km離れた遠くの水源地まで、長い時間歩いて日々の水を得ていました。飲料水を得るために、過酷な長距離移動を強いられ、生計、教育、家事に支障をきたしていました。村に井戸ができ、清潔な飲料水を手に入れることができるようになりました。村の中で安全な水が飲める井戸を待ち望んでいた村人たちは、井戸建設にとっても積極的に参加し、技術者にしかできない作業以外は、皆で手分けして行いました。



【寄贈者】(株)大松様

ウバ州モナラーガラ県エティリウエワ村
受益者・15世帯150人および近隣農民
井戸の形式・露天式(深さ8m)

贈った井戸を現地で見る夢がなかった

私は学生時代から、バックパッカーとしてアジアを旅するのが好きで、26歳だった2009年に旅から帰国した際、「今の自分にできることをやりたい」と思い、近隣の信頼できるNGOを探したのがJAFSとの出会いでした。

ちょうどその頃は、関西の大学生が集まり、第1回アジアユースサミット(AYS)の準備をされていた頃で、彼らにも多くの刺激をもらいました。当時、私は仕事が忙しくなり、途中で離脱せざるを得ない状況になってしまいましたが、AYSの準備に携わらせていただく中で、JAFSに関わる方々が責

任感が強く、みな輝いていることが、社会人2・3年目の私にはとても眩しく見えました。

そこから「いつかは私も自分の仕事に誇りを持ち、成果を出し、JAFSの活動にかかわりたい」と考えるようになりました。

それから数年が経ち、自分の会社を持ち1期目が終わったタイミングで、JAFSを通じてバングラデシュに井戸を寄贈させていただきました。その頃はまだまだ余裕がありませんでしたが、「次寄贈させていただくタイミングでは現地を見に行きたい!」と強く思っていました。



JAFSとの出会いから16年。この度やっと一つの夢がかない、2025年6月25日、ネパールのシンドゥパルチョーク郡インドラワティ村に寄贈した井戸を見に行きました。

もちろん、お金だけではなく関わり方がベストだとは思いますが、まだまだ会社も零細企業。将来学校を作りたいという夢はありますが、若く身体が動くうちは会社を大きくし、多くの知識と技術を蓄え、その後それらをアジアに還元したいと考えています。この度、ネパール現地での皆さんのお声を聞いて、より一層それを強く感じています。

訪問した村は、井戸を贈る前は水インフラが整っておらず、女性や子どもたちが毎日山道を歩いて生活用水をくみに行っていた村です。特に雨天時は道がぬかるみ、多くの危険がありました。

昔から現代まで同じように水道設備が整っておらず、生活用水をくみに行くのは、小学2・3年生ご

からの多少の力がついてきた子どもたちの仕事になっていました。日本では考えられないことですが、今の大人たちも同じような幼少期を育てており、初等教育がなされていないことで、同じ歴史を繰り返しています。

今回関わったプロジェクトによって、水道パイプラインがふもとの給水システムとつながり、村内で生活用水が得られるようになりました。これにより、子どもたちが水くみの仕事から解放され、毎日安心して学校に通えるようになりました。

まずは初等教育を受けられる環境づくりをされているJAFSに、微力ながらお力添えできたことは非常に自社の誇りとなっています。そしてその後の高等教育・職業訓練を提供できるような会社になりたいと考えています。これからもよろしくお願ひします。

(JAFS会員・(株)リレーションズ 松村 篤樹)

貧しい村人を助けた

スリランカでは大規模な経済危機から、生活必需品である食べ物、水、薬、電気、ガソリンなどが倍以上に値上がり、収入の少ない村人はそれらを手に入れることがさらに難しくなりました。特に農村部の安定収入を持たない家庭では、いまだ毎日食べることも困難で、村に井戸がなくても清潔な水を買うことができません。安全な水が飲める井戸の完成を待ち望んでいた村人は、寄贈が決まった井戸建設に参加し、自分たちも建設に関われたことをとても喜んでます。

【寄贈者】(株)OSGコーポレーション 青樹会様



ウバ州モナラーガラ県ヌガヤヤ村
受益者・20世帯200人および近隣農民
井戸の形式・露天式(深さ8m)

【寄贈者】(株)グローアップ米田豊・たづ様



ウバ州モナラーガラ県ワタワナガマ村
受益者・11世帯63人および近隣農民
井戸の形式・露天式(深さ8m)

井戸の周りに植林

慢性的な水不足に悩まされていたところ井戸を寄贈いただき、村の青少年たちは井戸を守り維持していくために、井戸の周りに植林しました。木々には水を保持し浄化する力があります。このことが村をより良くするための活動にも派生し、子どもたちが安全に過ごせるよう、学校の校庭や道路を整備する活動にもつながりました。あわせて村では、衛生や健康についての教育や、環境保全の講習も行われ、井戸の水によってそれを実践することが可能になりました。

JAFSにフレッシュな風

7～11月に活動する インターン学生紹介

昨年度と今年度に入った 新スタッフ紹介

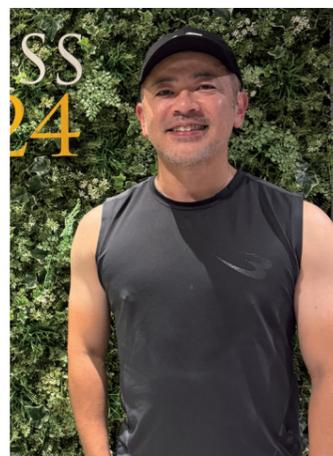
JAFS事務局には、昨年6月から1名と今年5月から1名の
新スタッフが加わっています。スタッフの平均年齢を
下げ、それぞれ前職での経験も生かしながら、JAFSの
活動にフレッシュな風を入れ始めています。

またインターン学生も増え始めています。従来からの
個人応募の学生さんに加え、NPO法人ドットジェイ
ピーという、インターン希望学生とインターン受入れ団体
(NPO・NGOや国際機関など)を取り持つNPOと出会っ
た今年2月以降、春休み・夏休み期間の各2か月に複数の

インターン学生さんが活動してくださっています。
今年度は7月から、ドイツの大学院で学ぶ日本人学生
がPR動画編集の活動を開始。8月からはドットジェイ
ピーのインターン学生6名が、9月からは中国ルーツでス
ペイン語もできる学生さんも加わり、11月22日の新規イ
ベント「アジアまるごとフェスタ」の企画を進めているほ
か、学生企画の能登支援ボランティアツアーを9月に実
現しました。JAFSの伝統に新しい風が吹いて起きる変
化に期待してください。

人と人をつなぐ架け橋になる

榮 泰隆 2024年6月～



地域社会の枠を越えたNGOであるJAFSの活動に参画できうれしく思います。JAFSでは会員管理を主とし、総務や労務にも従事しています。前職は門真市立市民公益活動支援センター長として地域のNPO支援に従事しました。特に労務の視点から、従業員が安心して継続的に働ける環境づくりが私のミッションと考えています。現在までの実績として大阪市民活動推進委員会や兵庫県「夢ビジョン」策定委員として、市民協働や地域政策の推進に関わり、多様な組織や個人の橋渡し役を担ってきました。加えて「企業と社会」などの書籍編集を通じ、NPOと企業・行政の連携促進も実践してきたつもりです。現場と制度、地域と世界をつなぐ中間支援の実践を重ね、持続可能な市民社会の構築に貢献していきたいと思えます。今後も多様な協働の可能性を模索しつつ、人と人をつなぐ架け橋として活動してまいります。皆様との出会いを大切に、共に成長したいと考えています。

「教育は未来を創る」を胸に

藤澤 幸二郎 2025年5月～



はじめまして。「教育は未来を創る、当たり前のことだけと忘れないように」。これは、私が前職の小学校教員時代、上司からよく言われた言葉です。この言葉を胸に留めながら自分なりに15年間教員生活を送ってきました。私は、先進国と発展途上国の経済格差に関する南北問題の授業をよく行っていました。しかし、授業をしながら同時に「自分は発展途上国から搾取する生き方をしていていいのではないか?」「もっと自分に出ることがあるのではないか?」、そんな疑問をいつも抱いていました。転機となったのは、JICAの教員研修でペルー共和国に行ったことでした。日本では考えられない生活をしている子どもたちの姿を見て、いかに自分が世界を知らずに生きてきたかを痛感しました。これを機に、国際協力の道へとキャリアチェンジするに至りました。JAFSでは、教員時代の自分の原点である「教育は未来を創る」という言葉を胸に、活動に尽力したいと思います。

将来は国際協力分野の研究活動

◆フライブルク大学院2年 月岡優斗

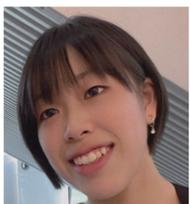


私は、現在ドイツの大学院で社会学を研究しています。本インターンを通じて、研究だけでは学べない実際のNGOでの支援活動を体験したいと考えています。特に、本団体の交流活動には積極的に参加し、支援を受ける人々や職員の方々の想いについて深く学びたいです。将来はこの経験を元に、主に国際協力の分野で研究活動などを通じて貢献することを目指しています。

【PR動画・イベント活動】

仲間とのディスカッション力を

◆近畿大学2年 丸尾悠月



私は今回のインターンで、仲間と話し合いを行うディスカッション力身につけたいと思っています。このディスカッション力は、私の将来の夢である、図書館司書に必要な力なので、議論する機会の多いインターンの中で身につけたいと考えています。活動が始まって少しはりましたが、やはり初めてのことは難しいと感じます。ですが今後の活動で慣れていき少しでも貢献したいと思えます。

【イベント活動】

大学では得られない貴重な経験

◆立命館大学1年 桑野瑞生



私はこのインターンでアイデア力を養いたいと考え参加しました。チームでの企画立案や店舗訪問、電話対応など、普段の学生生活では決して得られない貴重な経験を積んでいます。初めての挑戦ばかりで思うようにいかない場面もありますが、その度に工夫を重ね、挑戦を恐れなくなりました。こうした学びを早い段階で得られることは、今後の私にとって大きな財産になると強く感じています。

【イベント活動】

法曹に必要な「頼られる存在」を目指す

◆近畿大学1年 倉鋪智文



法学部1年生です。活動を開始して、同じインターン生や、アジア協会のスタッフさんたちと会話をしながら仕事を進め、新しい経験もでき、やりがいを感じています。今回の活動を通して将来の夢である法曹に必要な要素だと考える、「頼られる存在」になりたいと思っています。そのため自分から積極的に仕事を引き受け、たくさんコミュニケーションをとりたいと思います。

【イベント活動】

計画性・責任感と支え合う大切さ

◆龍谷大学2年 栗栖佳子



インターン活動を通じ、計画性や責任感をもって行動する力を身につけたいと考えています。仲間と一緒に取り組むことで、自分一人では得られない学びや達成感があり、支え合う大切さを実感しています。将来は自分で考え、行動できる強さを持ちながらも、周囲に優しさを届けられる人になりたいと思います。この経験を将来に繋げるため、活動を全力で楽しみながら自分の軸を持って頑張りたいです。

【イベント活動】

国際的な組織で活躍したい

◆大阪大学2年 戴睿



私は国際協力や国際的な人権問題に関心があります。将来は経験や語学力を活かし、国際的に活躍できる組織で働きたいです。インターン活動を通して国際協力NGOでの仕事を体験し、チームや電話対応でのコミュニケーションの取り方を学び、イベントの企画力などを身につけたいです。インターン生とスタッフのみならず、この恵まれた環境で頑張りたいと思います。

【イベント活動】

支援活動の意味を学びたい

◆大阪経済大学1年 吉田大河



私は国際協力や地域支援の分野に強い関心を持ち、今回アジア協会アジア友の会のインターンに参加することになりました。実際に現場に関わることで、人とのつながりの大切さや、支援活動の持つ意味を学びたいと思っています。まだ経験は浅いですが、一つひとつの活動に真剣に取り組み、仲間の皆さんと協力しながら成長していきたいです。どうぞよろしくお願いたします。

【能登支援活動】

関心あった災害の現場を経験

◆近畿大学1年 増田一心



小学生の頃、YouTubeで地震の映像を目にしたことをきっかけに、災害への関心を持つようになり、この度JAFSの能登支援に参加させていただきました。これまで被災地の様子はテレビでしか見たことがなく、初めて現地に足を運びました。現実をしっかりと受け止める学びを得るとともに、貴重な経験となりました。決して無駄のない時間にできるように、一生懸命取り組みました。

【能登支援活動】

JAFSチャリティイベントカレンダー



2025年秋

月	日	地域	行事名	時間	実施場所	参加費	内容
10月	10日(金)～14日(火)	タイ	第32回アジア国際ネットワークセミナー	10日(金)～14日(火)	バンコク・クリスチャンセンター	5万円(宿泊部屋により変動します。現地までの交通費を除く)	昨年スリランカで開催のアジア国際ネットワークセミナーを、今年はAFSタイがホストとなり開催します。セミナーは3日間。各国チャプターからの活動報告はじめ、これからのAFSの目指すべき方向や具体的な方策について話し合います。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	11日(土)	関東	JAFS関東 目黒～白金台チャリティーウォークとそうすいの会	ウォーク9:00～12:00 そうすいの会12:00～14:00	チャリティーウォーク 目黒駅～白金台～三田(約5km) 国立科学博物館付属自然教育園 東京都庭園美術館(旧朝香宮邸) 港区郷土歴史館(旧公衆衛生院)に立ち寄り、ゴール後は昼食としてそうすいの会を開催します。	チャリティーウォーク 1000円 そうすいの会 1000円	9時 JR目黒駅東口集合 9時30分 国立科学博物館付属自然教育園散策(入園料320円) 10時30分 東京都庭園美術館(旧朝香宮邸)庭園散策(入園料200円) 11時30分 港区郷土歴史館(旧公衆衛生院)のゴシック建築を見学 12時 三田にゴール後、そうすいの会 ●窓口：JAFS関東活動委員会 川崎 080-2041-0505
	14日(火)	西区	第427回JAFSそうすいの会	12:00～13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近のアジアの現状を、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。そうすいを食べながらアジアへの井戸支援を行います。●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587
	14日(火)	備前市	第49回アイビー歌声サロン in 日生	15:00～16:30	岡山県備前市日生町日生2219-4 元パル美容室	500円	リクエスト形式でみんなで楽しく歌いましょう ●窓口：鳥居 090-5663-6123
16日(木)	宝塚市	第35回JAFS道楽の会 宝塚・小浜宿ウォーキング	10:30～16:00	10:30 阪急今津線逆瀬川駅改札口集合	1000円	●窓口：石原 090-1134-3085	
18日(土)	平野区	JAFSなにわ南地区会主催 第12回ノアノアフエスタ心の講話シリーズ「ありのままを生きる力」ほっこりダブル講演会	10:30～15:00	〒547-0012大阪府平野区長吉六反3-1-32 アークショップノアノア (大阪メトロ谷町線長原駅より徒歩約8分)	2000円(昼食付)	盲目のカウンセラー「幸せの入口屋」初代当主 西亀 真 氏と不登校や発達障がいなどに苦しむお母さんに向けて「おはなし会」を開催しているNPO法人こすえのつぼみ代表理事 神野 哲 氏によるダブル講演会と対談を開催します。●窓口：柿島 090-1021-6834	
22日(水)	生駒市	アイビー歌声サロン in 生駒	15:00～16:30	生駒市ISTAはばたきホール 近鉄けいはんな線白庭台駅または北生駒駅下車徒歩10分	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151	
24日(金)	大阪市北区	JAFSチャリティコンサート 瀬田敦子演奏50周年記念ピアノリサイタル 阪神淡路大震災後の30年に想いを寄せて	開場 17:00 開演 18:00～20:00	あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール 大阪市北区西天満4-15-10(梅田新道東南角) あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内	前売3000円 当日4000円 (ザ・フェニックスホール反の会会員 前売2400円 当日3200円)	瀬田敦子さんが「アジアの子供たちの未来のために」と、各地で開催してきたチャリティコンサートは20回を超え、学校に通えない子どもたちへの支援を続けている。瀬田さんの演奏活動50周年を記念して贈る、タイ・ベトナム・日本の若手演奏家とのジョイントコンサート 第一部<アジアの若手による演奏> ギター: チンナワット・テムクムクン、ヴァイオリン: カオ・ホン・リン、ピアノ: 小倉裕貴、ピアノデュオ: 中尾 恵・松尾美保 第二部<瀬田敦子による珠玉のピアノ小品集> ●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587	
26日(日)	生駒市	チャリティ・ライブ&マルシェ in 生駒	11:30～15:30	生駒市北コミュニティセンター ISTAはばたきホール 近鉄けいはんな線白庭台下車徒歩10分 北生駒駅下車徒歩10分	前売2000円(500円金券付き) 当日2500円(留學生・障がい者・小学生1000円(500円の金券付き))	アジアの多彩な歌・踊りを楽しみながら、美味しい料理をいただき、ハザールも楽しんでアジアの人たちと楽しく交流しましょう。●窓口：鳥居 090-5663-6123	
26日(日)	関東	瀬田敦子演奏生活50周年記念チャリティコンサート 東京公演	開場 18:30 開演 19:00～21:00	ミュージアム川崎シンフォニーホール 市民交流室(建物4F) JR川崎駅 中央西口から徒歩3分 京急川崎駅 中央口から徒歩8分 神奈川県川崎市幸区大宮町1310	前売3000円 当日4000円	瀬田敦子さんが「アジアの子供たちの未来のために」と、各地で開催してきたチャリティコンサートは20回を超え、学校に通えない子どもたちへの支援を続けている。瀬田さんの演奏活動50周年を記念して贈る、タイ・ベトナム・日本の若手演奏家とのジョイントコンサート 第一部<アジアの才能-音楽の新たな展開> ギター: チンナワット・テムクムクン、ヴァイオリン: カオ・ホン・リン、ピアノ: 小倉裕貴、ピアノデュオ: 中尾 恵・松尾美保 第二部<瀬田敦子一珠玉のピアノ小品集> ●窓口：JAFS関東活動委員会 川崎 080-2041-0505	
2日(土)	西区	JAFS国際ネットワーク支援会	14:00～16:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	1000円	これまで培ってきたアジア18ヶ国との絆を次世代へつなげる若者を育て、応援する為の知恵を持ち寄るおしゃべり会です。●窓口：大仁 06-6444-0587	
11月	2日(日)	高槻市	JAFS高槻 秋のクラシック Café カルテット弦楽四重奏の調べ	14:00～16:00	クロスバル高槻(高槻市立総合市民交流センター) 8階イベントホール JR高槻駅南口より徒歩2分	参加費 会員2000円 未会員2500円	深まる秋に 秋色の調べ Café カルテット による四重奏を聴きながら心豊かな時間を過ごしませんか。費用の一部はインドコスモニケタン学園の支援金に充てさせていただきます。●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	3日(月・祝)	京都市	kokokaオープンテラス2024 活動紹介ブース出展	10:00～16:00	kokoka京都市国際交流会館 京都市左京区粟田口鳥居町2-1 一般用駐車場	無料	ボランティア団体等の活動紹介を通して、来場者に社会や世界とのつながりを感じて、様々な取り組みや活動の場を知ってもらいます。万国屋台村やステージ、スパイスマーケットもあります。JAFSの活動紹介もします。当日お手伝いいただくボランティア大募集。
	11日(火)	西区	第428回JAFSそうすいの会	12:00～13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近のアジアの現状を、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。そうすいを食べながらアジアへの井戸支援を行います。●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587
	20日(木)	未定	第36回JAFS道楽の会 ウォーキング	10:30～16:00	未定	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 ●窓口：石原 090-1134-3085

22日(土)	天王寺区	アジアまるごとフェスタ(第10回アジア・チャリティ・フェスティバル)	11:00～17:00	大阪国際交流センター 2階大会議室さくら(大阪メトロ谷町線・千日前線 谷町九丁目5番出口より600m、近鉄 大阪上本町14番出口より400m)	500円(留學生・大学生以下・障がい者無料)	様々な国々出身の民族が一堂に会し、お互いの文化を体験し共に理解し合う多文化交流の広場として開催します。また各国自慢の食も楽しみ秋の楽しい一日を共に過ごします。 *現在、実行委員、ボランティア、出演者、出店者を募集中です。ので、お気軽にお問合せください。 ●窓口：事務局 柿島・藤澤 06-6444-0587	
	京都市	ハザールカフェ フィエスタ	13:00～16:00	京都市上京区岡松町258 tel: 075-411-2379 京都駅・阪急烏丸から地下鉄烏丸線で「今出川」下車徒歩5分	無料	毎年恒例のハザールフィエスタ、今年も開催! アジア・中東各国料理、雑貨、音楽…国籍も宗教も年齢も性別も越えて、みんなで作るフィエスタです。京都地区会が出展します。当日ボランティア大募集!	
	未定	ブルーオーシャン作戦「日本とアジアをつなぐビーチクリーン」～海のプラごみを減らそう	10:00～12:30	二色の浜公園(大阪府貝塚市、予定)、葛西臨海公園(東京都江戸川区、予定)、フィリピン・インドネシア(オンライン)	300円 大学生以下 無料	海洋プラスチックごみを減らして、地球と地域をきれいに! 海でつながるアジアの仲間と一緒にビーチクリーン活動しませんか。●詳細問合せ先: 事務局 川本 06-6444-0587	
12月	7日(土)	JAFSなにわ南地区会主催 第10回ノアノアフエスタ ノアノアカフェクリスマスパーティ	10:00～14:00	〒547-0012大阪府平野区長吉六反3-1-32 アークショップノアノア (大阪メトロ谷町線長原駅より徒歩約8分)	1500円(昼食付) 小学生以下・障がい者は無料	なにわ南地区の活動拠点であるノアノアカフェで、子どもたちも招いて楽しいクリスマスパーティを開催します。共に心豊かなときを過ごしましょう。 ●窓口：JAFSなにわ南 柿島 090-1021-6834	
	6日(土)	JAFS国際ネットワーク支援会	14:00～16:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	1000円	これまで培ってきたアジア18ヶ国との絆を次世代へつなげる若者を育て、応援する為の知恵を持ち寄るおしゃべり会です。●窓口：大仁 06-6444-0587	
	9日(火)	第429回JAFSそうすいの会	12:00～13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近のアジアの現状を、スタッフまたはアジアからの留学生が報告します。そうすいを食べながらアジアへの井戸支援を行います。●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587	
	13日(土)	第6期JAFSアジア市民大学 賞学長最終講義	14:00～16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	2000円	アジア市民大学賞学長が、この6年間の当大学の活動を振り返り、依然として紛争が絶えない世界の現実や経済的格差の拡大、地球規模の環境破壊などの多くの課題を踏まえ、これからの世界の行く末について論じ話します。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834	
	13日(土)	第6期JAFSアジア市民大学 賞学長感謝の集い	17:00～19:00	北京料理徐園 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	5000円	アジア市民大学賞学長と共に6年間の学びを振り返り、受講生の皆様と共に懇親・交流のひとときを過ごします。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834	
	13日(土)	京都市	第8回竹中真京都チャリティピアノコンサート ～あなたの支援で子ども達が変わる!～	14:00～16:00	日本基督教団京都教会 京都市中京区富小路通二条下る俄屋町197 京都市営地下鉄「烏丸御池駅」または「京都市役所前駅」より徒歩約7分	前売り 2500円 当日 3000円	ジャズピアニスト竹中真氏をお迎えし、チャリティコンサートをおこないます。1000曲以上の幅広いレパートリーがあり、ジャズスタンダード、ポップス、クラシック、日本や世界の伝統的な民謡や童謡など、多岐にわたってお楽しみいただけます。協力はフィリピンとスリランカのこどもと女性支援に充てさせていただきます。
	18日(木)	未定	第37回JAFS道楽の会 ウォーキング	未定	未定	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 ●窓口：石原 090-1134-3085
20日(土)	平野区	JAFSなにわ南地区会主催 第13回ノアノアフエスタ クリスマスパーティ	10:30～14:00	〒547-0012大阪府平野区長吉六反3-1-32 アークショップノアノア (大阪メトロ谷町線長原駅より徒歩約8分)	1500円(昼食付) 小学生以下・障がい者は無料	なにわ南地区の活動拠点であるノアノアカフェで、子どもたちも招いて楽しいクリスマスパーティを開催します。共に心豊かなときを過ごしましょう。 ●窓口：JAFSなにわ南 柿島 090-1021-6834	
1月	10日(土)	西区	第7期JAFSアジア市民大学 第1回ベトナムとシンガポールから見たアセアンと日本の未来	14:00～16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	一般 2400円 会員 2000円	日越大学・ハノイ国家大学客員教授の桂良太郎氏が、ベトナム、シンガポールの社会福祉の状況からアジア型の社会福祉について話します。また両国の事例から多文化共生とSDGs社会の実現には何が必要かを考えます。●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834

♥「もったいない」のきもちを社会貢献へ♥

JAFSでは以下のものを集めています。ぜひ、ご協力をよろしくお願いたします。

○書き損じハガキ、切手(未使用・記念切手可)、外貨コイン: 事務局の通信や、JAFSの活動に使わせていただきます。

○服、アクセサリ、カバン等: 買ったけど敬回しか使っていない。でも捨てられないものありませんか。

お問い合わせ 06-6444-0587 JAFS事務局

断捨離 × 国際協力 もったいないを力に!

寄付いただいた物品は、チャリティーショップ KANAU で販売。その売上がアジア協会の支援活動に役立てられます。

洋服(春・夏服) 靴 本/CD/DVD 服飾品 アクセサリー ショール等

※冬物は9月以降にお願いします

問合せ・受付先 ▼ 火曜定休 10:00～18:00 JR寺田町駅より徒歩10分

KANAU 〒544-0025 大阪市生野区生野東2-2-15 090-4161-0236(青木)

新入会員ご紹介

ご入会感謝申し上げます。(敬称略・50音順)

2025年6月1日～8月31日

- 賛助会員
 - 坪内弘樹
 - マンスリーサポーター
 - 天城理伊

会費納入者、寄付・物品協力者

温かいご支援ありがとうございます。(敬称略・50音順)

2025年6月1日～8月31日

なお夏季・冬季募金へご協力くださった方につきましては、1年後の夏季・冬季に別紙で報告させていただきます。

- 社員会費
 - 秋山賀子／安達英行／熱田親憲／熱田典子／池田邦子／池本修／石田雅昭／石原基義／伊東祥多／上田高久／大石みどり／大原映子／岡本厚／奥田順／小野元裕／柿島裕／柏木道子／川上知子／川崎壽／川本裕子／北田嘉信／北野光三／北山典彦／金昌則／草加節男／柴村壽子／古賀旭／古賀範久／金剛一智／崎野哲史／櫻井紘哉／佐藤正隆／佐藤道代／實清隆／清水茂實／下山浩二／末広真樹子／高垣靖／田島高広／田中壽美子／田中政直／谷岡康男／谷和弘満／玉城博和／辻知久／土屋菊男／藤間孝子／藤間剛／中井淳夫／中須賀敬子／中村日游／西田貞之／橋本隆／東幹男／平瀬勢文／平山隆史／福岡好嗣／福川肅／藤原正昭／藤原道子／船戸康夫／本間一将／松本督／保恵／南野紀美子／宮川眞一／宮野谷篤／宮本照佳／三渡真由美／村上和範／村上公彦／毛利吉男／森脇寛／安田信人／柳井一朗／山崎道治／山崎桃／山崎桃／山下泰之／山田和広／山田穂積／横井怜子／横山浩平／芳野徳洋／米田

- ん諷岐路／篠塚達朗／芝崎末廣／澁谷香織／下野博／正法地浩／正法地真理子／須賀浩／菅原直樹／杉江久男／杉原貴／鈴木浩／瀬川真平／関口淳／関谷康子／曾和明／大仁孝太郎／平善行／高橋町子／高畑政登／竹田陽子／竹中有香子／武生伸子／巽正憲／立石小夜子／田中和枝／田中和子／田中守／谷口昌嘉／谷丸九郎／種村政宏／丹治純子／辻賢一／辻知久／辻正浩／坪田由紀子／出野聡司／遠田智代／徳永正和／長江佐和／中江優子／中尾巧／中岡未子／中路信子／中島就子／中島裕子／中谷華菜／中谷誠／中西伸子／長野清文／中橋政美／中南有加里／中村真司／並川昌子／西優子／西川龍夫／西田恭子／西林昌樹／西村秀明／西本悦子／西山あかり／橋本喜代子／橋本喜代美／長谷川雅子／秦道代／濱崎佳尚／林千夏／原田和幸／日阪栄子／久富雅之／久光定雄／日野恵美子／日野眞澄／廣敦子／深井泰樹／深田陽一／深谷春男／藤井りか／藤田百合子／藤原龍雄／古田万紀子／堀口賢司／本田伸一／本多操／前澤良子／前野芳子／真下浩一／増田愛子／栞田実／松井寿之／松村祐介／マツララジヤンマン／三木信子／三木裕則／三國谷勝寛／三雲孝／水野礼子／溝尾敬子／光畑麻美／南出道子／三宅律子／宮野慧子／虫明桂子／武藤由美子／宗石和久／村田恭仁子／毛利仁智厚／森わか子／森村文則／森本有紹／森山尚子／森山涼子／八尾眞弓／八木正人／Takao Swicango／八頭司和子／山内幸太／山口幸子／山口文枝／山崎晶子／山下登世子／山部禮／山本哲司／湯浅慎也／横手美知代／吉岡照仁／吉田伊吹／和田早苗／和田秀一／和田達生

- 修二・晶子／井上知紀／今宿有利子／岩切康宏／岩崎裕保／岩下将人／上野泰子／植村史子／宇田義徳／内田正宏／内野清子／漆原嘉孝／戎野博太郎／江本康子／延増保宣／大門吉俊／大島裕子／大林昌子／岡部雅子／小川雄也／萩原万紀子／沖本然生／籠谷啓史／鍛冶良祐／粕谷香代子／勝成忠／加藤浩輔／金本秀紀／鎌田勝江／河合典子／川瀬真知／北川久躬子／北崎忠良／木原輝子／久保佑治／近藤利則／栗山聡子／小泉和／輿水飛鳥／小林理恵／駒井隆／小美野広行／昆文彦／権藤恒安／斉藤修一／斉藤理美／坂手悦子／佐藤雅美／佐野光彦／渋谷理香／清水直子／清水利香／庄司野宇三郎／新谷百代／新羅和子／杉本明子／瀬田敦子／高澤美貴／高瀬規佐江／高橋温子／高浜久栄／竹村亨子／田中恭子／谷奥恵／長知子／辻知久／辻本英作／都筑信美／寺田真理子／殿本明子／外山和美／永井博記／中川佳子／中島慎介／永菅裕一／永谷恵子／中谷太一／中西貴子／中西美代／中西佑介／長浜真美／中村弓絵／檜崎しのぶ／成山邦子／難波正明／西浦暢子／西亀真／西田愉子／西山美菜子／千晶敦記／二野英子／根本クミ子／真倫／野村浩之／箱崎健明／服部健史／服部美代子／濱田光江／早崎鉄也／林芙美子／林八重子／原京／春木眞巳／飛田雄一／平原榮子／藤岡朋子／藤田知子／藤本夕衣／麓忠司／船松志津子／堀江直／本多隆久／前田拓／前田美保子／牧比呂美／疋本俊晴／真嶋克成／松浦有理子／松崎真理／松野光伸／丸山育子／三上弘志／水江美保／溝上富夫／三田村英宗／御手洗圭／南光子／眞浦明子／三宅明子／宮嶋淳／宗形充弘／村井昇／森恵美子／森正廣／森岡幸子／森原尚子／八木祐子／八木原由希子／柳田芳孝／山尾修／山川清／山口公子／山下玉英／山田俊朗／山野和子／山本正美／横山志津子／吉田大作／吉原香保里／義

- 本奈々／和田達生／渡辺豊子
- 法人会費
 - イオングループ労働組合連合会／㈱かんぼう／㈱カステロ／寝屋川教会
- 里親会費
 - 石坂祐子／一瀬由起子／井上修二・晶子／今井田尚久／大水光美／岡部雅子／鹿島恵美／鎌田勝江／川岸幸恵／川崎隆一／北原祐司／木村征代／今野裕章／佐藤雅子／佐藤道代／塩谷真人／塩月裕朗／下村蓮実／白石敦士／田辺咲葵／西澤純／西山美菜子／千晶敦記／西優子／野月晃樹／林芙美子／ビッグマリオン学院奈良教室／久富雅之／檜原敏之／平井静／洋野町国際交流協会／本田伸一／南貴子／森恵美子／山尾修／山川清／横手美知代／渡部司
- ジュニア会費
 - 林幸衣
- マンスリーサポーター
 - 天城理伊／池田一義／大河原貴／Kioastia Jun／佐藤文昭／杉崎仁志／武市知己／館野晶光／辻本健二／坪井弘樹／橋本亜紀／伴香保理／松久敏彦／宮田英一／森美鶴
- 一般寄付
 - 大久保勝則／洋子／兼松利木雄／木下良子／柳山暁／櫻井紘哉／實清隆／ソフトバンクつながる募金／田中航／玉城博和／藤原正昭／眞砂哲志／水野敦子／宮川眞一／柳井一朗／吉田佳代子／渡辺治彦
- 土と水と緑の学校支援寄付
 - 赤嶋崇／足立開紀／荒川鉄也／荒川雄毅／荒木迪夫／有田稔／幾谷昌彦／伊藤エリサ／井上淳子／太田宣子／岡田経子／置田義男／香川泰子／金谷節子／祐奈／萱原俊哉／川端勝／岸本啓子

- ／喜多榮子／嶽盛和三／木村征代／木村依江／久保田敬子／米田明正／河野直子／浄土宗西方寺／坂口久代／佐藤雅子／佐藤美千代／沢田博／島津博義／横田順正／菅谷句美子／田井中友子／辰登志男／谷阪洋子／地本英子／坪井弘樹／藤間孝子／中川由美／中嶋啓子／中島綾／中野為夫／桂子／中村恵美子／西扶美子／西川京子／西本悦子／西森幸子／畠山ひろみ／花房逸子／林温子／原田和幸／日笠修宏／平原榮子／藤原増子／麓忠司／古谷佳世子／㈱ポックス代表取締役森清高／堀内静／堀口節子／本庄紀子／前田恵美子／松浦有理子／溝渕むつ躬／南野紀美子／守田修治／山野和子／山本訓子／上田年春／横井明子／吉田聡子／吉田俊朗／吉原香保里／米田明正／RamonVendellGall／霊松寺岡村良孝／脇家崇夫／渡辺治彦

- 井戸指定
 - 角英樹／杉本樹里
- 井戸建設積立
 - (一財)エオサンタ／仁愛会／杉本樹里／JAFSぞつすいの会
- 井戸建設指定
 - カンボジア
 - イオングループ労働組合連合会／樋口雅軌／(株)渡すい住設
 - ネパール
 - 青樹会／平見美智子／南砺市立福野小学校
 - パングラデシユ
 - 蛭名健仁・加奈子／直の会代表土居止戈代／宗形充弘
 - 水支援
 - 蛭名健仁・加奈子／川本順子

- アジア・ネットワーク奨学会費
 - 上野孝一
- アジア・フレンドシップ夢基金
 - JAFS歩く会／JAFS生駒地区会／JAFSワンコインセミナー
- アジア・子ども支援寄付
 - 渡邊喜久次
- コスモニケタン指定寄付
 - 石原基義／上田慎子／柏木道子／木村征代／近藤奈穂子／JAFS高槻／高山恵理子／平瀬美智子
- スリランカ・サルボタヤ支援会費
 - 小澤勇
- スリランカ指定寄付
 - 岡本朋子
- パングラデシユ指定寄付
 - 戸田恭子
- ネパール・ピトゥリ基金・支援
 - 熱田典子／大谷英一／大谷臣子／小川幸子／奥田和弘／倉光和之／小松朱美／前田美津代／前田豊／マツラ・ラジヤンマン／吉川照代
- ネパール栄養改善教育支援
 - 大阪友の会
- フレンドシップ国際基金
 - 石神誠／上野孝一／岡田一／岳山修／川端勝／JAFS国際ネットワーク支援会／戸田恭子／鳥居京子／鳥居建十／鳥居洋一／西川京子／根津千枝子／端無勝／法花敏郎／水ノ上成彰／柳井一朗／山下泰之／山本宏昭／吉田暢子
- ウクライナ緊急支援活動寄付
 - 宮古聖ヤコブ教会

- フィリピン台風被災者支援寄付
 - 戎野博太郎
- パングラデシユ・ネパール大規模洪水復興支援
 - 濱田美恵子
- トルコ地震支援
 - 濱田美恵子
- 地球幸せ募金
 - 小林利子
- 集めるキャンペーン・物品寄贈
 - 乾聖陽／佐藤満昭／渡邊瑠璃子

JAFS公式LINE～友だち追加お願いします！

JAFS公式LINEを始めています。イベント案内、アジアの活動状況、国内活動の様子など、タイムリーに情報をお届けしていきます。右のQRコードから友だち追加してください！



アジアネットのお届け方法についてお願い～メール送付を始めます

郵送費高騰の折、会報アジアネットのお届けを、少しずつデータ化していこうと考えています。まずは紙媒体と同じ内容の会報データを、切り替え可能な方にはメールでお送りし始めます。

メールアドレスをお持ちで、パソコン・スマホ・タブレットなどでアジアネットを読まれる方は、下記情報を記載いただき、JAFS事務局 (asia@jafs.or.jp) までメールをお送りください。

- ・タイトル「アジアネットのメール送付希望」
- ・お名前
- ・登録番号 (アジアネット送付宛名ラベルの名前の前の番号、登録番号不明の方は代わりに住所)

1月発行の164号からスタートします。データのアジアネットは、かさばらず、時間の空いた時にお好きな場所で読んでいただけます。メール送付への移行にご協力ください。メール連絡をいただかない方には、これまで通り郵送でお届けします。



国内外のさまざまなイベントをHPに載せています。記事についてのお問い合わせはJAFSへ裏表紙にアドレス、連絡先



澄んだ歌声でさわやかな夏のひと時

7月26日、京都地区会主催のミニコンサートを、京都市上京区のバザールカフェで開催しました。会費の一部はフィリピン・スリランカの子どもと女性支援に生かされます。バザールカフェはヴォリブズ建築による落ち着いた雰囲気のカフェ。まずは「フィリピン風カレー」のランチをいただきました。今回初めて出演をお願いした「アンサンブル・アンジェラ」さんは4人の女性グループ。京都・大阪を中心に、病院や福祉施設などで活動していらっしゃるそうです。

全員シンプルな白いドレスで登場。1曲目は古い讃美歌で澄んだ歌声を聞かせてくださいました。続いて夏の歌のメドレー。「野ばら」ほかの小曲やオペラの歌と続き、音量に圧倒されました。歌だけでなく、ピアノソロでの「渚のアデリーヌ」やリチャードクレイダーマンのヒット曲でアンコールの声もかかるほどのすばらしさ。トーンチャイム演奏もあり、やわらかいチャイムの音色にうっとりしました。最後はみんな「夏の思い出」や讃美歌を歌い、参加する楽しさも味わいました。4人の歌声は、夏の暑さを忘れさせてくれる、まさに「地上に舞い降りた天使(=angela)」でした。

(JAFS会員・京都地区会 福井えり)

スリランカの現状と課題を学ぶ

7月2日、日本と同じアジアの国であるスリランカの今後の支援課題、特に女性たちの就労支援を話し合う学習会を京都地区会で開催しました。日ごろから、同じアジアの国々についてもっと知る必要があると感じてはいたものの、なかなか行動に移せずにいました。学生が中心になって企画を練り、現地と同じカレーの美食を交えながら知識をアップデートするとてもいい機会に恵まれました。

スリランカカレーを食べることで、スリランカの女性たちは日々しっかり食事を取れているのだろうか。争いや貧困の中で食にアクセスできていない人はいないだろうか。ある場合、問題の構造は何かといったことが

次々と頭に浮かんできました。JAFSで活動される皆さんの活動を聞いて、私も自己実現にとどまらず地域や社会に還元する働きと、より良い未来と地球を守ることに貢献していかなくてはならないと、改めて感じさせられました。

作成したチラシでSNSを中心に広報したところ、当日20名近くの学生が集まりました。カレーを食べた後には、参加者それぞれが感じたこと、普段考えていることなど夜遅くまで話し合いました。学生のために機会を創出してくださった、日本基督教団洛西教会の柳井一朗先生にも心より感謝申し上げます。

(同志社大学3年生 小野寺美穂)

アジア協会アジア友の会(JAFS) 京都地区学習会
7.2.WED 18:30-20:00
1. 講演 スリランカの現状と今後の支援課題とは～女性の就労支援～ JAFS事務局職員 岡本佳子さん
2. スリランカカレーの美食
公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)について
1980年日本基督教団(神戸)宣教科による活動により、アジアで現地提携団体と共に、井戸等の水支援事業を始めとした地域の課題を解決し、自立を目指す民間の国際協力団体(NGO)です。JAFS京都地区会では年間を通じたチャリティプログラムの協力でフィリピン、スリランカの子どもの教育支援をしています。
大阪府西成区江戶堀1-2-14 肥後橋南側ビル4F 電話: 06-6444-6587
ホームページ: <https://jafs.or.jp> E-mail: kanstst@jafs.or.jp
会場 日本基督教団 洛西教会
京都市北区大塚町新川崎町95番地
最寄りバス停: 西バス23号南橋(大塚橋)
※2023年現在は本数が少ないので必ず時間をお確かめください。
駐車場 徒歩
TEL: 075-462-7654

遺贈寄付で遺志をアジアへ

ご自身の大切な財産の一部を、JAFSへの遺贈(非課税)として生前に遺言に記していただくことにより、ご遺志をアジアの未来にお役立ていただけます。遺された方が相続された遺産も、アジアの今後につながる寄付(非課税)として活かしていただくことができます。

入会・寄付のご案内

会員となって継続的に支援くださることで、安定した活動計画ができます。ご協力をお願いいたします。

- A. 社員会員 年額 24,000円
- B. マンスリーサポーター〔維持会員〕 月額 1口 1,000円～
- C. 里親サポーター〔アジア里親の会〕 年額 1口 30,000円 (月額 1口 2,500円)
- D. 法人会費 年額 1口 50,000円

会費・寄付の振り込み先

三菱UFJ銀行中之島支店 普通1007011 または 楽天銀行リズム支店(209) 普通7006892 【口座名 シャ) アジア協会アジア友の会】

編集後記

42年の歴史ある「土と水と緑の学校」が今夏で終了した。祖父父母がボランティア、親がリーダー、孫が参加者というご一家もあり、3600人を超える卒業生に夫々の人生が刻まれていることを改めて感じました。(裕)

新宮の山・川・緑に囲まれて子どもたちの元気な声にパワーを得た。最終回は寂しいが皆の心にいつまでも残る45年の歩みをJAFSは築けた実感。42回までの参加者・リーダー・ボランティア・講師全ての方に感謝(典)

25年 戦意高揚されたが、緊張が続き国民におとす影は深い。国境から遠く離れた村の人々も日々の不安を消せずにいる。日本も戦後80年を迎え、いつも以上に平和について考える夏となった。(佳)

25年 以上ぶりのインド。ムンバイには高層ビル、服装も西洋化。へき地の村では変わらぬ家や服だがスマホとTVアンテナが目に入る。村の家電普及率は電灯↓扇風機↓TV。冷蔵庫はあっても洗濯機は見なかった。(川)

今夏は夢洲の大阪万博へ。半世紀前に吹田で開かれた万博の時、小生はピカピカの新人記者。諸先輩の指示で会場を駆け回ったのも懐かしい思い出です。リタイア後の今回は家族と出かけ、楽しく過ごせました。(敏)

環境コラム 海のブルーカーボン

フィリピンでのマングローブ植林ワークキャンプに9月に行きました。10月掲載記事にある、ルソン島南端のパグリラン村。海からマングローブ林の間をボートで縫って進んだ先に現れる静かな漁村でした。マングローブ林に囲まれているが、記事の通り、薪利用などのため伐採が進み、一度はマングローブが減ったのだそうです。

マングローブ林のもたらす利点としては、大きく4つ。①海水に強い丈夫な木材なので建材に適し、炭にすれば火力が強い燃料となる、②津波・高波や台風などから沿岸を護る防波堤としての役割、③水中に網状に張る根が水生生物の隠れ家となり、生態系を豊かにする、④陸上の樹木より二酸化炭素を多く吸収・固定するため、地球温暖化の抑制効果が大い、ということが挙げられています。①を享受するあまり②③④が損なわれ、今は取り戻そうとする段階ということでしょうか。

インドネシアのバリ島やスマトラ島アチェ州でもマングローブ植林活動をしています。バリ島は理由①のほか、エビ養殖場を作るためにマングローブが伐採され、再植林が進められています。

利点②③は目に見えて実感できるため、地元の人にとっても植林の動機になりやすいですが、④は地球規模の話で二酸化炭素も目に見えないため、頭で理解した理屈を動機にしなければなりま

せん。私も、マングローブは二酸化炭素を多く吸収・固定するという知識は持っていましたが、なぜ?という疑問を抱きつつ放ったらかしのまま今まで来たので、この機に調べてみました。

陸上の樹木と同じくマングローブの根元にも、落葉や枯れた枝・根などの有機物が貯まりますが、海水に浸り酸素に触れない時間が長いため、陸より有機物が分解されないまま堆積していきます。こうしてマングローブの土壌には、光合成により二酸化炭素が固定された有機物が、陸上よりたくさん蓄積されるということのようです。

これを最近では、海で二酸化炭素が固定された「ブルーカーボン」と呼び、陸の樹木の「グリーンカーボン」だけでなく、海の植物の温暖化抑制効果も大きいことが分かってきています。

そして今回パグリラン村のマングローブ林で目に入ったのは、アマモ。浅い海底に生える細長い葉の種子植物で、比較的水質がきれい環境が良好な場所に生育するとともに、アマモ自体も水質浄化作用に優れ、魚の住処にもなるので、日本でも各地でアマモ再生に取り組まれています。このアマモも「ブルーカーボン」。パグリラン村のマングローブ周辺は比較的良好な海洋環境になっていることを示すとともに、ますます護っていくなくてはなりません。(JAFSスタッフ 川本 裕子)



▲めったに見ない日本人がスタディーツアーで村を訪れた。「ナマステ」と挨拶すると、手を振って応えてくれた。2025年8月17日、インド、マハラシュトラ州ガッチロリ県ムスカ村

▲表紙の写真 土と水と緑の学校の「水の授業」では、川の中にいる魚などの水生生物をたくさん捕まえた。8月9日、和歌山県新宮市高田。457ページに特集記事



募金にご協力をお願いします

アジアの安全な飲料水がない地域で
貧困に苦しむ人たちを支援する活動に使われます

郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会

編集・発行：公益社団法人 アジア協会アジア友の会
(JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階

☎ 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581 E-mail asia@jafs.or.jp

URL: <https://jafs.or.jp> Facebook: <https://www.facebook.com/JAFS.NGO/>

HPもご覧ください

2025年10月 163号 発行人：篠原勝弘

広報企画委員長：法花敏郎 副委員長：柳井一郎

編集アドバイザー：黒沢雅善

編集スタッフ：熱田典子、岡本佳子、大本和子、柿島 裕、
川本裕子、藤澤幸二郎

印刷製本：あさひ高速印刷株式会社



HPもご覧ください



ご寄付をお願いします